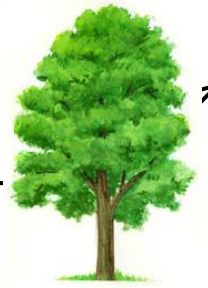




コミュニティ・スクール 太宰府市立太宰府西中学校 学校だより

## 樟 蔭

令和4年2月7日(月) No.14 文責 校長 島田 二郎



### 2月になりました

2月になりました。2月は「如月(きさらぎ)」と昔は言われていました。なぜだろうと思い、調べてみると「きさらぎ=衣更着」という、語源に関する有力な説があるそうです。寒さが厳しい時期であるため、更に着物を重ね着するから「衣更着」と表し、それが「如月」へと変わったようです。なお、「如月」には「寒い冬が終わり、春に向かって万物が動き始める時期」という意味があるようです。一番寒い時期ということは、それ以上、寒くはならず、あとは暖くなるのを待つということでしょうか。

2月は学校としては、年度の終わりが近づき、今年度のまとめと、次年度に向けて様々な準備をする時期となります。その中で最も大きな行事は、何といても卒業式です。中学3年生が登校する日は残りわずかとなりました。そして、3月11日に卒業式を迎え、本校を卒業し、巣立っていきます。卒業式を無事に迎えることができると願います。また、9日(水)からは後期期末考査が始まります。今年度最後のテストです。しっかりと勉強に励み、自分が満足できる結果を得てほしいと思います。



### 進路について考える

高校入試はこれまでに、私立高校専願入試、公立高校特色化選抜、私立高校前期入試、公立高校推薦入試が実施されました。約4割の生徒は進路が確定しました。残りの約6割の生徒は公立高校等の受検が待っています。自分のめざす進路を実現できることを祈ります。1、2年生はそれぞれ、高校の先生を講師としてお招きし、講話をしていただくことをとおして、自分の進路について考えます。単に「どの高校を受験するか」ではなく、「高校は何を学ぶところなのか」「どのような高校があるのか」「自分はどのような高校に進みたいのか」「そのために中学校生活をどのように過ごしたらよいのか」などを考え、『今』と『将来』をつなげて考えなければいけません。だからこそ、2月から3月は大事な時期となります。寒い時期ですが、自分の将来について、しっかりと考え、進級してほしいです。



### コロナ禍が続いています

新型コロナウイルスは猛威をふるっており、太宰府西中学校においても学級閉鎖がありました。教育活動においても、グループ活動を控えたり、体育においてマスクを着用したままで激しくない運動をしたり、合唱練習は短時間で密を避け、向き合っては歌わないようにしたり、昼食時間は黙食に励んだりしています。本当は楽しいはずの活動が様々な制限を受けつつも、子ども達は前向きに過ごし、学校生活を楽しんでいます。学校では、引き続き感染症対策をしながら、できる範囲での教育活動を進めていきます。ご家庭においても、これからもご協力をお願いいたします。



消毒しよう



手を洗おう



換気しよう



黙食しよう